



2025年3月期 決算短信 (日本基準) (連結)

2025年5月15日

上場会社名 堀田丸正株式会社
コード番号 8105 URL <https://www.hotta-marusho.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 隆之
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 矢部 和秀
定時株主総会開催予定日 2025年6月25日 有価証券報告書提出予定日 2025年6月26日
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-6824-9481

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	3,098	△16.1	△355	—	△300	—	△407	—
2024年3月期	3,693	△4.5	△190	—	△130	—	19	—

(注) 包括利益 2025年3月期 △387百万円 (—%) 2024年3月期 36百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	△7.24	—	△14.2	△8.4	△11.5
2024年3月期	0.35	—	0.6	△3.5	△5.2

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 一百万円 2024年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	3,330	2,675	80.3	47.57
2024年3月期	3,803	3,062	80.5	54.46

(参考) 自己資本 2025年3月期 2,675百万円 2024年3月期 3,062百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	△330	379	△0	474
2024年3月期	74	△646	0	420

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

※2026年3月期の配当予想は未定であります。

3. 2026年 3月期の連結業績予想 (2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600	16.2	2	—	40	—	30	—	0.53

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)				
① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期	59,640,348 株	2024年3月期	59,640,348 株
② 期末自己株式数	2025年3月期	3,396,007 株	2024年3月期	3,395,907 株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	56,244,405 株	2024年3月期	56,244,409 株

(参考) 個別業績の概要

2025年3月期の個別業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 個別経営成績		(%表示は対前期増減率)							
	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
2025年3月期	2,715	△12.8	△321	—	△267	—	△359	—	
2024年3月期	3,114	△5.4	△191	—	△131	—	18	—	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	△6.39	—
2024年3月期	0.32	—

(2) 個別財政状態		総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭	
2025年3月期	3,111	2,510	80.7	44.64	
2024年3月期	3,548	2,872	80.9	51.06	

(参考) 自己資本 2025年3月期 2,510百万円 2024年3月期 2,872百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	14
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善がみられる中、緩やかな回復基調で推移いたしましたが、エネルギー・資源価格の高止まり、国内物価上昇に加えて米国の今後の政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動に加え、中国経済でも、個人消費が持ち直す一方で不動産不況が足かせとなるなど先行き不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループは中長期視点での価値創造を前提とした事業の選択と集中・投資を継続的に推進するとともに投資と構造改革を両輪で推進してまいりました。

事業の選択と集中の一環として、当社グループのコア事業であるファッション事業ならびにマテリアル事業に経営資源を集中させることを目的とし、2023年6月30日にライフスタイル事業のギフト部門を会社分割、同分割会社の株式を譲渡いたしました。またファッション事業においてPB・ODM品を強化するとともにD2C事業への投資を継続、マテリアル事業においては、海外売上拡大に向けた人財投資、取引先の開拓、燃糸の企画開発等を推進してまいりましたが、残暑・暖冬による消費者の購買行動の変化によりそれぞれの季節商材の初動にも大きな影響を及ぼし、ファッション卸事業ならびにマテリアル国内事業において受注が伸び悩む要因となりました。加えて、きもの事業における得意先倒産などもあり、ギフト事業売却による減収分を補うことができず売上高ならびに売上総利益が減少、人件費等の固定費は減少しましたが百貨店との取り組み店舗増加により販売経費が増加いたしました。また、新たな収益源の創出として、EC事業を立ち上げB to C向けのブランドビジネスを展開してまいりましたが、2024年8月に新たな経営体制に移行し、事業環境を再度精査した結果、今後の事業継続性および成長性の厳しい事業である、新規ブランド事業のうち『ReCHARELL (リチャレル)』、『KanaUa (カナウーア)』及びニットブランド『equo (エクオ)』の撤退と海外子会社堀田上海有限公司において、事務所の移転及び人員削減を行うことによる構造改革費用の計上及びきもの事業での得意先倒産に係る貸倒引当金繰入額の計上を行っております。

この結果、売上高30億98百万円（前年同期比16.1%減）、営業損失は3億55百万円（前年同期は営業損失1億90百万円）、経常損失は3億円（前年同期は経常損失1億30百万円）、また、構造改革費用及び貸倒引当金繰入額を特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失4億7百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益19百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（きもの事業）

きもの事業は、百貨店との取引拡大のため売場の1社体制を推進し、専門店は顧客分析に基づく品揃えならびに非呉服品を含む新規商材の投下による催事の活性化・収益力強化を継続的に推進してまいりました。

百貨店部門は、新規取引先の拡大や既存売場における1社体制の構築などを推進してまいりましたが、大手百貨店の営業方針転換に伴い、売場閉鎖が発生しました。専門店部門は非呉服などの催事施策を構想しましたが、大手量販店の倒産により売上高は減少となりました。この結果、売上高は6億29百万円（前年同期比17.3%減）、百貨店売場拡大のため販売費の増加により、営業損失は96百万円（前年同期は営業損失54百万円）となりました。

（ライフスタイル事業）

ライフスタイル事業は、ヘルスケア部門においては、原料価格の高騰を受け、収益力強化のためOEMの受注に注力いたしました。商品切り替えに伴い当四半期の受注数としては減少、また新商品開発への投資を進めたこと及び東北地区におけるギフト部門を2023年6月30日付けで売却したこともあり減収減益となりました。この結果、売上高43百万円（前年同期比64.7%減）、営業損失は7百万円（前年同期は営業利益0百万円）となりました。

（ファッション事業）

ファッション卸事業におけるミセス部門は、残暑や暖冬の影響により季節商材の初動が遅れ、ダウンなどの重衣料の販売が低調に推移したほか、百貨店を中心とした催事販売も振るわない結果となりましたが、新たな通販会社との取り組みやオリジナル商品の受注・販売は堅調に推移いたしました。百貨店SHOP事業は、出店加速・MD強化のための人財投資もあり増収減益となりました。ファッションD2C事業は、一部ブランドの撤退を実施したものの、新たなTV販売の推進などにより、増収増益となりました。この結果、売上高14億85百万円（前年同期比0.2%増）、営業損失は30百万円（前年同期は営業利益0百万円）となりました。

（マテリアル事業）

マテリアル事業は、上海事業において中国国内の景気減速に伴い、大手取引先からの受注大幅減が影響し減収減益、国内事業において中国内需向けの受注減、コロナ感染症以降の各アパレルメーカーの在庫調整などもありアパレル各社からの受注も低調となったこともあり、減収減益となりました。この結果、売上高9億29百万円（前年同

期比29.5%減)、営業損失は53百万円(前年同期は営業利益31百万円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は31億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億73百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が54百万円、商品及び製品が76百万円増加しましたが、短期貸付金が3億90百万円、売掛金が1億83百万円減少したことによるものであります。固定資産は2億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円減少いたしました。

この結果、総資産は33億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億73百万円減少いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は6億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ82百万円減少いたしました。これは主に、電子記録債務が70百万円減少したことによるものであります。固定負債は27百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円減少いたしました。これは主に、その他固定負債が4百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は6億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ85百万円減少いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は26億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億87百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純損失4億7百万円の計上と為替換算調整勘定21百万円の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は80.3%(前連結会計年度末は80.5%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度に比べ54百万円増加し、4億74百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、減少した資金は、3億30百万円(前年同期は74百万円の増加)となりました。これは主に、売上債権の減少2億22百万円があったものの、税金等調整前当期純損失3億97百万円、棚卸資産の増加1億17百万円、仕入債務の減少65百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、増加した資金は、3億79百万円(前年同期は6億46百万円の減少)となりました。これは主に、貸付金の回収による収入45億30百万円、貸付による支出41億40百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は、0百万円(前年同期は0百万円の増加)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出によるものであります。

(4) 今後の見通し

個人消費の回復が見られる一方、米国トランプ政権による関税施策や原材料の高騰、国内外の物価上昇など経済の先行きは依然として不透明な状況で推移するものと予想され、今後の個人消費や企業活動への影響が懸念されます。

当社グループの主事業である卸売は、お取引先である百貨店、量販店、専門店における売上・集客に一定依存しており、消費マインドの動向ならびに各お取引先における売上・集客の不確実性は、依然として懸念され、当社グループの事業活動に影響を及ぼす可能性があります。その影響度合いは前会計年度と比較して縮小していくと考えております。

このような経営環境の中、当社グループとしては、事業成長・規模の拡大に向けた投資を引き続き行っていくとともに、各事業における営業施策を遂行し、国内外の取引社数の拡大ならびに収益率の改善を図ってまいります。

また前期の事業構造改革による事業撤退、固定費の引き下げなどを行い損益分岐点売上高の低減を図り、収益構造の変革に取り組んでまいりました。

以上のことから、2026年3月期の通期連結業績予想につきましては、売上高36億円、営業利益2百万円、経常利益40百万円、親会社株主に帰属する当期純利益30百万円を見込んでおります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当連結会計年度において、営業損失3億55百万円及び経常損失3億円、親会社株主に帰属する当期純損失4億7百万円を計上する結果となりました。当社グループの業績は、当連結会計年度まで7期連続で営業損失、経常損失を計上しております。そのため過去の業績も考慮し、継続企業の前提に関する注記を開示するまでに至りませんが、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しているものと認識しております。

当社グループといたしましては、当期の利益計画において連結営業利益の黒字化を見込んでいるとともに、保有現預金から資金計画上、継続企業の前提に関する不確実性は認められないものと判断しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	420,270	474,747
受取手形	68,590	22,937
売掛金	560,008	376,591
電子記録債権	100,868	107,644
商品及び製品	861,379	937,763
原材料及び貯蔵品	43,335	43,002
短期貸付金	1,500,000	1,110,000
その他	41,636	50,770
貸倒引当金	△10,198	△10,935
流動資産合計	3,585,891	3,112,522
固定資産		
有形固定資産		
建物	63,865	76,415
減価償却累計額	△59,446	△61,062
建物（純額）	4,418	15,353
工具、器具及び備品	39,606	45,557
減価償却累計額	△21,227	△27,189
工具、器具及び備品（純額）	18,378	18,368
土地	75,141	75,141
その他	13,013	13,705
減価償却累計額	△4,024	△5,460
その他（純額）	8,988	8,244
有形固定資産合計	106,927	117,107
投資その他の資産		
投資有価証券	53,339	51,318
その他	82,322	133,528
貸倒引当金	△24,771	△84,311
投資その他の資産合計	110,890	100,535
固定資産合計	217,818	217,642
資産合計	3,803,709	3,330,164

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	269,387	280,779
電子記録債務	280,864	210,055
未払法人税等	7,071	8,126
その他	152,231	128,344
流動負債合計	709,554	627,305
固定負債		
繰延税金負債	5,620	4,574
資産除去債務	8,460	9,899
その他	17,091	12,993
固定負債合計	31,172	27,467
負債合計	740,727	654,773
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,236,690	3,236,690
利益剰余金	47,800	△359,519
自己株式	△389,576	△389,580
株主資本合計	2,994,914	2,587,590
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,628	8,650
為替換算調整勘定	57,438	79,150
その他の包括利益累計額合計	68,067	87,800
純資産合計	3,062,982	2,675,391
負債純資産合計	3,803,709	3,330,164

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	3,693,891	3,098,781
売上原価	2,590,405	2,089,072
売上総利益	1,103,485	1,009,708
販売費及び一般管理費		
販売手数料	288,544	350,941
賃借料	83,421	112,517
運賃及び荷造費	117,955	110,120
販売促進費	61,074	47,069
貸倒引当金繰入額	△347	971
役員報酬	24,300	16,900
給料及び手当	414,915	404,339
福利厚生費	102,766	102,900
旅費及び交通費	47,849	50,566
減価償却費	6,344	9,833
その他	147,248	158,719
販売費及び一般管理費合計	1,294,073	1,364,880
営業損失(△)	△190,588	△355,172
営業外収益		
受取利息	59,130	61,636
受取配当金	1,437	1,547
為替差益	837	-
その他	2,602	4,661
営業外収益合計	64,009	67,846
営業外費用		
支払利息	376	151
株主優待関連費用	3,250	5,500
為替差損	-	6,883
その他	215	782
営業外費用合計	3,843	13,318
経常損失(△)	△130,422	△300,644

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
特別利益		
有形固定資産売却益	1,523	-
関係会社株式売却益	39,730	-
移転補償差益	115,665	-
特別利益合計	156,919	-
特別損失		
貸倒引当金繰入額	-	57,197
構造改革費用	-	40,011
特別損失合計	-	97,209
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	26,497	△397,853
法人税、住民税及び事業税	7,071	9,466
法人税等合計	7,071	9,466
当期純利益又は当期純損失(△)	19,426	△407,319
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	19,426	△407,319

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	19,426	△407,319
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,573	△1,978
為替換算調整勘定	12,202	21,711
その他の包括利益合計	16,776	19,733
包括利益	36,202	△387,586
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	36,202	△387,586

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	3,236,693	28,374	△389,581	2,975,486
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			19,426		19,426
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△3		5	2
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計		△3	19,426	5	19,428
当期末残高	100,000	3,236,690	47,800	△389,576	2,994,914

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	6,055	45,235	51,291	3,026,777
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益				19,426
自己株式の取得				△0
自己株式の処分				2
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	4,573	12,202	16,776	16,776
当期変動額合計	4,573	12,202	16,776	36,204
当期末残高	10,628	57,438	68,067	3,062,982

当連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	3,236,690	47,800	△389,576	2,994,914
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△407,319		△407,319
自己株式の取得				△4	△4
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	-	△407,319	△4	△407,323
当期末残高	100,000	3,236,690	△359,519	△389,580	2,587,590

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	10,628	57,438	68,067	3,062,982
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純損失（△）				△407,319
自己株式の取得				△4
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△1,978	21,711	19,733	19,733
当期変動額合計	△1,978	21,711	19,733	△387,590
当期末残高	8,650	79,150	87,800	2,675,391

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失 (△)	26,497	△397,853
減価償却費	6,347	8,578
為替差損益 (△は益)	△8,280	6,010
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1,523	-
関係会社株式売却損益 (△は益)	△39,730	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,501	60,276
受取利息及び受取配当金	△60,568	△63,184
支払利息	376	151
売上債権の増減額 (△は増加)	26,598	222,848
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△33,007	△117,330
仕入債務の増減額 (△は減少)	16,560	△65,379
未払又は未収消費税等の増減額	38,631	△19,136
その他	53,701	△19,706
小計	23,101	△384,724
利息及び配当金の受取額	59,831	62,897
利息の支払額	△376	△151
法人税等の支払額	△7,585	△8,411
営業活動によるキャッシュ・フロー	74,971	△330,390
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,773	△18,930
有形固定資産の売却による収入	1,523	-
投資有価証券の取得による支出	△983	△1,003
投資有価証券の売却による収入	80	-
敷金及び保証金の差入による支出	△34,721	△817
敷金及び保証金の回収による収入	35,090	10,068
関係会社株式の売却による収入	65,307	-
貸付けによる支出	△6,620,000	△4,140,000
貸付金の回収による収入	5,920,000	4,530,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△646,478	379,316
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△4
自己株式の処分による収入	2	-
配当金の支払額	△0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	2	△4
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,371	5,553
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△557,132	54,476
現金及び現金同等物の期首残高	977,403	420,270
現金及び現金同等物の期末残高	420,270	474,747

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)
該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取扱商品別に事業部を置き、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは事業部を基礎とした取扱商品別のセグメントから構成された「きもの事業」「ライフスタイル事業」「ファッション事業」「マテリアル事業」の4つを報告セグメントとしております。

「きもの事業」は、和装品、和装小物品、宝飾品等を卸売しております。

「ライフスタイル事業」は、マットレスを中心としたヘルスケア商品を卸売しております。

「ファッション事業」は、布帛・ニットを中心とした婦人服、子供服、ホームファッション等の卸売、百貨店等での婦人服販売、ニット製品の企画・販売及びD2C事業をしております。

「マテリアル事業」は、ファンシーヤーン（意匠撚糸）の企画開発、製造卸売をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額 (注1)(注2)	連結財務諸 表計上額 (注3)
	きもの事業	ライフスタイル事業	ファッション事業	マテリアル事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客への売上高	760,236	124,382	1,482,793	1,318,379	3,685,791	8,100	3,693,891	-	3,693,891
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	760,236	124,382	1,482,793	1,318,379	3,685,791	8,100	3,693,891	-	3,693,891
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△54,258	389	171	31,628	△22,069	7,180	△14,889	△175,698	△190,588
セグメント資産	572,695	15,429	523,426	708,833	1,820,383	84,845	1,905,229	1,898,480	3,803,709
その他の項目									
減価償却費	-	142	4,906	473	5,522	426	5,949	395	6,344
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	-	-	3,963	1,306	5,269	-	5,269	15,964	21,234

- (注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△175,698千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。
3. セグメント資産の調整額1,898,480千円には、セグメント間債権の相殺消去△94,595千円、各報告セグメントに配分していない本社資産1,993,075千円が含まれております。
4. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額 (注1)(注2)	連結財務諸 表計上額 (注3)
	きもの事業	ライフスタイル事業	ファッション事業	マテリアル事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客への売上高	629,092	43,962	1,485,660	929,161	3,087,876	10,905	3,098,781	-	3,098,781
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	629,092	43,962	1,485,660	929,161	3,087,876	10,905	3,098,781	-	3,098,781
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△96,168	△7,203	△30,622	△53,138	△187,132	8,844	△178,287	△176,884	△355,172
セグメント資産	549,166	12,070	513,618	621,289	1,696,144	96,025	1,792,170	1,537,994	3,330,164
その他の項目									
減価償却費	-	-	3,892	641	4,533	1,370	5,904	3,929	9,833
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	-	-	6,380	-	6,380	12,550	18,930	1,419	20,349

- (注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△176,884千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。
3. セグメント資産の調整額1,537,994千円には、セグメント間債権の相殺消去△89,695千円、各報告セグメントに配分していない本社資産1,627,689円が含まれております。
4. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	合計
2,992,914	700,977	3,693,891

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

主要な顧客に関する情報は、単一の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	合計
2,674,621	424,160	3,098,781

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

主要な顧客に関する情報は、単一の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】
該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	54円46銭	47円57銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	0円35銭	△7円24銭

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	19,426	△407,319
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	19,426	△407,319
期中平均株式数(株)	56,244,409	56,244,405

(重要な後発事象)
該当事項はありません。